
ガキ

K2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ガキ

【Nコード】

N8661C

【作者名】

K2

【あらすじ】

”逃げ道”の番外編矢吹の恋をえがいた物語

「早く大人になりたい」

俺は、矢吹 恭二「やぶき

きょうじ」18歳

「何？反抗期？」

隣に居るのは、1番隊隊長の 東 光来「あずま みつき」17歳。
ちなみに、俺は、この団の密偵をしている。

「違いますよ！ただ、俺は、あの人に・・・」

「この 刀カツコよくない？新しくしたんだけど」

「人の話 聞いてます!？」

「聞いているよ 七瀬に追い付きたいんだろ？」

七瀬 あき「ななせ あき」22歳 7番隊の隊長だ。

「なんで？」

「だって、あの人は、大人で俺は、ガキで・・・」

「バカだね」

「はあ？」

「俺には、今のお前自身が必要に見えるけど？ 七瀬には」

「そうですかね・・・」

ニコツと笑ってアイスを食べはじめる光来隊長

「恭二っ!」

「七瀬隊長？」

「ココにいたのか 見回り行くぞ」

「はい 光来隊長 ありがとうございます」

「頑張つてね」

しばらく歩いて、七瀬隊長が俺の頭におく。

「お前もでかくなつたな」

「えっ?・・・」

いきなり、キス。

「ちよつ七瀬隊長!？」

「ははっ」

「ははっじゃないですよ!誰か見てるかもしれないのにつ」

「頓所内だから大じょーぶ」

「大丈夫って……」

もう……でも……

今の俺がいて 今の七瀬隊長がいるなら このままでもいいかな。

「何 話してたんだ?光来」

「うわっ いたんですか?沖田さん……てゆーか立ち聞き……」

「ウルセーな で?」

そう言いながら俺の隣に座ってタバコを吸う。

「矢吹が七瀬に追い付きたいと言ってたんで 今のままでいいつて言っとききました」

「俺もお前は、今のままでいいけど?」

タバコを消して 俺を押し倒す。

「ちよつ……何 昼間からこんなトコで盛ってるんですかっ!」

ココは、頓所内の庭に面した廊下

「あんま人いねー……ちよと それは、ダメだろ光来」

俺は、沖田さんに刀を向ける。

「ウルセエー……」

「ちよつ 待てって……うわあああつ」

終劇

(後書き)

矢吹の恋どうでしたか？ この物語は、皆さんに自分らしくいてほしくて書きました。最後まで読んでくれてありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8661c/>

ガキ

2010年10月10日02時46分発行